

# 重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	総務部
-------	-----

【平成28年度重点目標】

重点目標	「自助・共助」を主体とした地域防災力の向上と危機管理体制の強化		
重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害発生時に市の業務を継続するための計画(BCP)策定</li> <li>市民主体の訓練を組合せた総合型防災訓練の実施</li> <li>地域防災力の向上に向けた取組・支援</li> <li>・自主防災組織の防災用資器材購入支援</li> <li>・地区防災マップ、地区防災計画等の作成に向けた啓発・支援</li> </ul>	年度内策定 上田市防災訓練の実施 9月 自主防災組織への支援 通年 各種防災講座の開催 通年	業務継続計画に記載する項目等の検討・精査、一部業務委託する部分の発注準備 9月3日（土）丸子北中学校を主会場に市内4地区で防災訓練を実施 各自主防災組織からの要望に基づき順次、防災用資器材の購入を補助（補助申請/60件） 出前講座の実施（9月末時点/15件） 災害図上訓練の実施に合わせて地区防災マップ作りを支援（9月末時点/2件） 東日本大震災支援：バスマターの開催(7月)、信州上田大花火大会への招待(8月) 熊本地震支援：救援物資の提供(4月)、家屋被害認定調査等応援職員の派遣(4月・6月、延15人)
重点目標	第三次行財政改革大綱の着実な実行		
重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三次上田市行財政改革大綱の推進</li> <li>・アクションプログラムの確実な実施及び取組項目の進捗管理</li> <li>・「受益と負担」及び「行政評価」のあり方の課題洗い出し</li> <li>公共施設マネジメント基本方針に基づく取組の推進</li> <li>・庁内推進体制の構築と運用方法の検討</li> <li>・公共施設を継続的かつ適正に維持管理する手段の検討</li> </ul>	年度内に実施  年度内に実施	「第三次行財政改革大綱」について広報・ホームページ等により公表した（4月）。また、「第三次行財政改革大綱アクションプログラム」を策定・公表した（6月）。  庁内推進体制の構築に向け、10月初旬にその他関係課を含めた庁内会議を開催するための調整を実施し、また、公共施設の維持管理手段として、固定資産台帳の納品データの確認と追加項目などの運用方法について、担当課と協議している。
重点目標	市民と行政との情報共有の推進		
重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な広報に向けた職員の意識改革</li> <li>情報伝達手段の多重化・多様化と受発信力の強化</li> <li>・メール・電話・FAXによる緊急情報発信の強化</li> <li>・全市の情報伝達手段の確定</li> <li>・市民のための生活情報誌の全戸配布</li> <li>双方向コミュニケーションの強化（SNSの活用）</li> <li>情報提供環境の整備とオープンデータ化の取組</li> <li>・オープンデータの提供</li> <li>・公文書の適切な管理</li> <li>・公文書館の整備と文書管理制度の見直し</li> <li>情報セキュリティ対策の強化</li> <li>・ネットワーク環境の再整備（インターネット、庁内LAN等）</li> <li>・情報セキュリティポリシーの改訂</li> <li>・セキュリティ研修と訓練の実施</li> <li>マルチメディア情報センター事業の在り方の検討</li> </ul>	広報マニュアルの作成(9月) 広報職員研修の実施(6回、120人) 自治会長等の緊急情報カバー率90% 緊急情報メール配信登録数17,000件 年度末に確定 年度末までに配布 新規SNS1分野の設置  オープンデータの提供開始 公文書選別基準策定、保存年限見直し 移管方法検討（年度内）  6月から年度末にかけて順次整備 改訂版の完成（7月） 研修（8月）、訓練（9月～10月） 方向性の確定（年度末）	草案を作成した。 自治会長の登録カバー率を75.4%（メール含む）とした。 メール配信全体の登録数を17,178件とした。 メール配信した防災情報を、各情報伝達媒体に自動送信する仕組の運用を開始した。 生活情報誌を刊行し、9月に全戸配布が実施された。 1分野のツイッターを運用開始した。  研修に参加し概要の把握と進め方について検討した。 公文書選別基準等、先進事例の調査を行った。 丸子郷土博物館に公文書館を併設することについて、丸子地域協議会の意見を伺っている。  インターネット環境の運用を6月から開始した。 ネットワーク再構築に併せ、年度末までにセキュリティポリシーの改訂を行う。 セキュリティポリシーの改訂に併せ、セキュリティ研修及び訓練を行う。 マルチメディア情報センターの業務課題について調査を行った。
重点目標	職員が生き生きと働くための人材育成とワーク・ライフ・バランスの推進		
重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>新「人事評価制度」の導入による職員の養成</li> <li>人材育成基本計画の見直しによる能力開発</li> <li>次世代育成支援のための特定事業主行動計画に基づくワーク・ライフ・バランスの推進</li> <li>・時間外勤務の縮減と年休取得率の向上に向けた取組の実施</li> <li>女性職員の活躍の推進のための特定事業主行動計画の推進</li> <li>・研修会の実施、推進月間の設定、制度周知の実施</li> <li>職員のコンプライアンス意識向上</li> <li>・各種研修会の実施</li> </ul>	目標設定(5月)、研修(5月)、評価(9月3月) 人材育成基本計画の改訂(4月) 定時退庁日周知(通年)、ヒアリング実施(7月)  女性職員の係長相当以上の割合を28年度当初よりも上げる  4～11月に各種研修会を実施	目標設定（5月）、管理監督職を対象とした説明会（課長級4/12、課長補佐・係長級4/19・21）、人事評価研修（7/26・27）、自己評価研修（7/28）、前期評価（9月）の実施。 人材育成基本計画を改訂し、4/27開催の部長会議で職員へ周知。 毎水曜日のノー残業デー、19日の育児の日に掲示板において職員へ定時退庁の周知。組織ヒアリング時に、各職場の時間外勤務、年次休暇の取得の状況を所属長からヒアリング（7月）。 8月をワーク・ライフ・バランス推進月間として設定し、働き方改革の取組を積極的に推進。 女性活躍推進研修の開催準備（11/22開催予定）。女性管理職と若手女性職員の懇談会（1月開催予定） 新規採用職員研修（4月・9月）、初級職員研修（1月開催予定）において、各種法令、財務会計、公文書の適正な管理等に関する研修を実施。
重点目標	多様な人材の確保による戦略的な人員配置と時代の要請に対応した組織の見直し		
重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方創生戦略を踏まえた人材の確保</li> <li>・UIJターン型の民間企業等職務経験者の採用</li> <li>・30歳代の若年職員の不足を踏まえた職員採用</li> <li>多様な任用形態による人材の確保</li> <li>・再任用制度や任期付職員制度の活用</li> </ul>	採用方針の決定(5月)、職員採用(年度内)  意向調査(5月)、ポスト調査(7月)、面談(12月)  組織ヒアリングを7～10月に実施  年度内に、組織及び事務の所掌のあり方についての方向性を示すとともに、必要に応じた組織見直しの実施	採用方針の決定（4月）。UIJターン型採用の第一次試験（10/16）実施に向け準備中。大卒程度一般行政職の受験年齢を35歳まで引き上げて実施（第一次試験7/24）。  今年度定年退職となる職員への意向調査の実施（5月）、組織ヒアリングを通じ、各職場のニーズを把握（7月）。来年度の再任用職員の配置に向け面談を実施予定（12月）。 予定通り組織ヒアリング等を実施し、来年度の必要な人員を把握する中で採用計画に反映できた。今後、再任用の活用も踏まえながら、各所属の詳細な人員の配置計画を検討していく。  市政の重要課題への的確な対応に向け、組織の見直しの基本的な方向付けができた。来年度、組織直しを行った所属の事務事業がスムーズにスタートできるよう詳細な事務所掌の調整を行っていく。

評価基準 [ ] : 目標を上回る進捗 [ ] : 目標どおり進捗 [ ] : 未進捗の部分あり [ x ] : 全て目標未進捗

**市長指示事項**  
 全市の情報伝達手段については、メール配信の加入促進を図るなど様々な方法について検討すること。・ラスパイレス指数の低下を目指すこと。・第三次行財政改革の取組みは住民合意を得ながら取り組むこと。・情報セキュリティについては、これまでの経験を活かし構築すること。・組織の見直しは時代にマッチしたものをタイムリーに取り組むこと。・窓口のあり方について研究すること。・本庁舎機能が使えない場合を想定すること。